

呼吸器内科専門医プログラム II

1. コンセプト

呼吸器内科専門医としてオールラウンドな力をつける。臨床研究によるエビデンスの構築、研修医を教育する能力を養う。

2. 短期目標

呼吸器内科専門医として十分な臨床能力を養うと共に、臨床研究の遂行力、研修医の教育力を身につける。

3. 取得手技と疾患

臨床研究プロトコール作成

診断と治療【肺腫瘍性疾患（肺癌など）、胸膜疾患（悪性中皮種など）、縦隔疾患、感染症および炎症性疾患（肺結核を含む）、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、細気管支炎（びまん性汎細気管支炎など）、アレルギー性肺疾患、特発性間質性肺炎、サルコイドーシス、稀少性肺疾患（肺胞蛋白症、肺リンパ脈管筋腫症など）、じん肺症、肺循環障害、薬剤・化学物質・放射線による肺障害、全身疾患に伴う肺障害（膠原病肺など）、呼吸中枢の疾患（睡眠時無呼吸症候群を含む）、慢性呼吸不全、急性呼吸不全（急性呼吸促迫症候群）